

2013年1月23日
株式会社日立製作所

インド国営火力発電公社向け 800MW 超臨界圧石炭火力発電所用 蒸気タービン発電機 2 基を受注

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、インド共和国(以下、インド)におけるパートナー会社である BGR エナジーシステムズ社(BGR Energy Systems Ltd.、会長: B.G.Raghupathy(B.G.ラグパシー))とインド国営火力発電公社(National Thermal Power Corp./以下、NTPC)から、同国チャティッスガル州のララ発電所に新設される 800MW の超臨界圧石炭火力発電所向け蒸気タービン発電機 2 基を受注しました。

なお、NTPC は、今回ので 4 サイト 9 基の石炭火力発電所の建設を計画しており、BGR エナジーシステムズ社は、2 サイト 4 基の蒸気タービン発電機について、2011 年 9 月に優先交渉権を獲得しています。今回、その中の 1 サイト 2 基分の受注が正式に決定したものです。また、残りの 1 サイトについては、オリッサ州ダルリパリ発電所(2 基)となることが決定しており、今後、正式に受注する見込みです。

インドは、急速な経済成長に伴い電力需要が拡大しており、一部の地域では電力不足が深刻化しています。これを解消するため、今後、2017 年までに現状の約 2 倍となる 330GW まで設備容量の増強が計画されています。現在、石炭火力発電は、インドにおける総発電設備容量の約 3 分の 2 程度の割合を担っており、今後も引き続き基幹電源としての役割が期待されています。

日立は、市場の伸張が見込まれるインドにおいて、石炭火力発電所向け蒸気タービン発電機事業の本格展開を目的として、2010 年 9 月に BGR エナジーシステムズ社と、蒸気タービン発電機の合弁会社である BGR タービン社(BGR Turbines Company Private Limited)を設立し、受注活動を展開してきました。

今回受注した蒸気タービン発電機 2 基の主契約者は BGR エナジーシステムズ社で、日立は、BGR エナジーシステムズ社との合弁会社である BGR タービン社を通じ、蒸気タービン発電機の主要機器を供給します。運転開始は 2016 年を予定しています。

■照会先

株式会社日立製作所 電力システム社 火力事業部 火力技術本部 海外技術部 [担当風間:]
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
電話 03-4564-5602(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
